

第 80 回 IEC フランクフルト大会参加報告

平成 28 年度 IEC 活動推進会議 運営委員長
江口 伸 (富士通株式会社)

第 80 回 IEC 大会が、2016 年 10 月 10 日～14 日にドイツのフランクフルトにて開催されました。ドイツ NC の大会運営のもと、Kap Europa を主会場に、100 ヶ国から約 3,200 名が参加し、総会 (Council)、評議会 (CB)、標準管理評議会 (SMB)、適合性評価評議会 (CAB) 等の上層委員会、および TC/SC のテクニカルミーティングが同時開催されました。(TC/SC のテクニカルミーティングは、9 月 26 日～10 月 14 日の期間で開催)



主会場の Kap Europa

[主要会議日程]

表 1 日程

日 程	会 議
10 月 10 日 (月)	SMB 会議、CAB 会議、開会式、ウェルカムレセプション
10 月 11 日 (火)	ヤングプロフェッショナル朝食会、APSG 会議、PASC レセプション Conference of the MSB “IoT の挑戦と可能性”
10 月 12 日 (水)	CB 会議、Workshop for Industrializing Countries
10 月 13 日 (木)	TC/SC Officers' Workshop
10 月 14 日 (金)	総会 (Council Statutory Session、Open Session)、フェアウェルパーティ

[開催規模]

- 招致 TC/SC 数： 106 (2014 年東京大会：53、2015 年ベラルーシ大会：24、2010 年シアトル大会：80)
- 参加登録者数： 3,227 名 (2014 年東京大会：2,367 名、2015 年ベラルーシ大会：1,289 名、2010 年シアトル大会：2,840 名)
- 参加登録者数 (上位 8 ヶ国)
 - 1) ドイツ：510 名
 - 2) 日本：410 名
 - 3) 中国：351 名
 - 4) アメリカ：305 名
 - 5) 韓国：150 名
 - 6) フランス：130 名
 - 7) イギリス：123 名
 - 8) イタリア：88 名

本稿では、IEC の最高意思決定機関である総会（Council Statutory Session 及び Open Session）の概要を報告いたします。

■ Council Statutory Session <2016 年 10 月 14 日（金） 8:30 - 11:30>



kongressセンター



総会での野村 IEC 会長及び IEC 役員

1. IEC 次期役員及び上層委員会委員（選挙結果等）

次期副会長兼 SMB 議長（2017 年－2019 年）として、スポーラー氏（ドイツ）が選出されました。加えて、CB、SMB、CAB については、自動選出国（財政グループ A）メンバーの承認、選挙による選出が実施されました。日本からは、CB 委員として、木村氏（ソニー）が再任、SMB 委員の平川氏（東芝）の任期満了に伴う後任として、江崎氏（ソニー）が就任されます。（表 2 参照）

表 2 総会での選挙結果

ポスト	氏名（国）	任期
IEC 副会長 兼 SMB 議長	Dr. Ralph Sporer（ドイツ）	2017 年－2019 年
CB 委員 (財政 A 国)	Mr. Patric Bernard（フランス） Dr. Keiji Kimura（日本） Mr. Markus Reigl（ドイツ） Mr. John M.Thompson（アメリカ） Mr. Rodney C.J.Turtle（英国）	2017 年－2019 年
SMB 委員 (財政 A 国)	Mr. Emmanuel Petit（フランス） Mr. Michael Teigeler（ドイツ） Mr. Ivano Visintainer（イタリア） Mr. Tadashi Ezaki（日本） Ms. Anna Humberstone（英国） Ms. Sonya Bird（アメリカ）	2017 年－2019 年
SMB 委員 (選挙による選出)	Mr. Carlos Perez Munguia（メキシコ） Mr. Jos Remy（オランダ） Mr. Thomas Korssell（スウェーデン） *ベラルーシ、ロシア、トルコが落選	2017 年－2019 年

CAB 委員 (財政 A 国)	Mr. Didier Bourges (フランス) Mr. Tim Duffy (アメリカ)	2017 年—2019 年
CAB 委員 (選挙による選出)	Mr. Ian Forte (オーストラリア) Mr. Rafael Nava (メキシコ) * トルコが落選	2017 年—2019 年

2. 財務関連

2015 年度決算や 2017 年度予算、各国分担金等について承認されました。

3. IEC の事業

Vreeswijk 事務総長より、2015 年ミンスク大会からの 1 年間の IEC の活動として、2017 年発行予定の Masterplan の策定活動、日本からは藤澤氏（元 IEC 副会長兼 CAB 議長）が大使である IEC Ambassadors の紹介、World Smart City Forum の開催、ヤングプロフェッショナル等について報告がありました。また、市場戦略評議会（MSB）の成果として、下記 2 件の白書の発行が報告されました。

- ・ IoT 2020 : Smart and Secure IoT Platform
- ・ Global Energy Interconnection

4. 野村 IEC 会長の挨拶

2016 年末で IEC 会長としての役割を終えられる野村氏より最後の挨拶があり、「IEC の下、活発な参画により国際標準の採択を積極的に推進して欲しい。」とのメッセージが発せられました。

5. 2017 年 IEC ウラジオストク大会の紹介

2017 年の IEC 大会がウラジオストクで 2017 年 10 月 9 日から 13 日に開催されることが報告され、プロモーションビデオ上映、同大会への招待のご挨拶がありました。

6. 2018 年以降の IEC 大会の開催予定

2018 年の IEC 大会は、韓国の釜山で開催することが再確認されました。2019 年は、中国の上海で開催されることが正式に承認されました。その後は、2020 年 スウェーデン、2021 年 UAE、2022 年 米国、2023 年エジプトでそれぞれ開催される予定であることが報告されました。

7. ドレスデン協定のフランクフルト協定への改定の調印

CENELEC との協定であるドレスデン協定の改定に伴い、新たにフランクフルト協定として、野村会長と CENELEC の Thies 会長により調印され、発行の運びとなりました。

Statutory Session の後は、次の複数テーマに分かれての限定メンバーによる Discussion Session が開催されました。

1. Challenges and opportunities for IEC post COP21 and how to successfully promote IEC's initiatives and solutions in this area
2. IEC Brand
3. Integrative Digitalization: not without industrial semantics, standardized in IEC
4. National Adoption Database
5. The issues relating to protecting Intellectual Property of IEC International Standards and responding to the case for free access to standards
6. The role of NCs and how to increase stakeholder involvement in IEC work

■ Council Open Session <2016 年 10 月 14 日（金） 14:30 - 17:15>

午後は、「Imagine the future」を主テーマとした Open Session が開催されました。Mr. Roland Bent 氏（ドイツ NC 会長）がモデレータを務め、8 名の登壇者により、IEC での標準化や ICT 活用の重要性について議論が行われました。

■ 所感

野村 IEC 会長 3 年目（最終年）の IEC フランクフルト大会が成功裏に終了しました。ドイツの威信をかけた最大規模の大会でしたが、混乱なく、また華美に走ることなく、ドイツらしく秩序だって運営されていました。日本派遣団としても無事に大会に参加できました。事前準備を含めた関係各位の皆様のご尽力の賜物です。深く御礼申し上げます。

最後に、今回、IEC 大会への参加の機会をいただき、経済産業省をはじめ関係各位に厚く御礼申し上げます。今後とも引き続きご指導いただけますよう、よろしく願いいたします。

以上